

授業に関するアンケート（2017 年度秋学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
社会システム学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
・全体としてはほぼ全学平均と同じであり、概ね合っていると思われる。 ・専門基礎演習・基礎演習に関する合致評価が低い傾向が見られる。 ・HP で確認させるだけでなく、学科内での説明会の機会を設けて、重要な科目や特に確認していない（と思われる）科目については、シラバスを別途説明する機会を増やしたい。現在も学科固有で説明会自体は年に数回実施しているが、その内容を再検討していきたい。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
・社会システム学科では 200 名以上受講者数の大講義も多く、クラス規模によって評価が低い傾向が見られる。 ・クラス規模を考慮すると、ほぼ全学平均となっていることから大きな問題は見られない。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
・全学平均とほぼ同一となっている。クラス規模による相違、科目区分による相違もあるが、ほぼ同一である。 ・レベルの極端に高い・低い科目の継続的な確認を行いたい。
4. 教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
・クラス規模の大きい群において評価が低い傾向があり、全学平均よりも低くなっている。 ・マナビーなどの活用を促していきたい。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
・クラス規模の大きい群において評価が低い傾向があり、全学平均よりも低くなっている。 ・提出だけではなく、個別に授業時間内に実施する重要性を教員間で共有したい。
6. 言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
・全体としてはほぼ全学平均と同じであり、概ね対応しているものと思われる。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
・実際には自主学習を促している側面もあるが、クラス規模の問題もあり伝達が難しい。 ・シラバスや、カリキュラム説明会などを通して自主学習の意義を伝えることを検討したい。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
・パワーポイントの効果的な使用、明瞭な話し方、などが挙げられた。 ・いずれも基本的な項目であり、個別の授業・教員に対しての対応も検討したい。 ・学科内でも教員会議時に独自に FD 活動を行っており、そうした活動を反映させていきたい。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
・実際には予習などが必要な科目も多いものと思われる（演習系）が、時間が短い傾向が見られる。どこまでが予習・復習なのか、自覚していない学習時間（レポート作成、フィールドワークの準備など）もあるものと思われる。

10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
全学平均と比べて低い傾向が見られるが、この点もクラス規模に反比例しているように見られる。授業外のオフィスアワーの活用、マナビーの有効活用などの検討が必要であると思われる。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
全学平均とほぼ同じであるが、平均値自体が低く、さらに高める検討を行いたい。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
必修か否かが大きな要因になっているものと思われる。 カリキュラム体系の全体像なども在籍学生に対して随時確認・説明会を行い周知したい。

（３）この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
ほぼ全学平均である大きな問題はないものと思われる。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
全学平均と同じか少し上回っており、科目数自体の多さや受講者数を勘案すると概ね問題はないものと思われる。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください （複数選択可、なしも可）。
・ DWCLA10 の中では、特に思考力について思学科よりも選択率が高い傾向が見られた。問題解決型、探究型の科目が比較的多いことがその要因として考えられる。 ・ リーダーシップが低く、クラス規模にもよるが、2018 年度からの新カリキュラムにも含まれている実習、グループ学習を伴う形式授業のさらなる増設も検討していきたい。

（４）その他

特記事項なし。

教育開発支援センター